

改善計画書

施設名 けやきアカデミー

(担当者 水野)

(作成年月日 令和 6年 5月 7日作成)

改 善 事 項 等								施設コメント
施設として やり続けて 続けるに 優れている こと	1	働きやすい職場作り	福利厚生や個別の面談等、現状維持で満足せず、常により良い環境作りを目指して邁進します。					
	2	一人ひとりの教育・研修	継続して社内研修の充実化を図ります。また会社としてだけでなく、各事業所でも学べる環境作りを行っていきます。					
	3	SNS・ホームページの積極性	閲覧者の方に興味を持っていただける内容や、弊社として伝えたい内容等、多方面から発信し、今後も継続して活用していきます。					
	4	利用者満足度の向上	今後も定期的なアンケートを実施していきます。事業所独自で実施する者は、マンネリ化しないように毎年内容を更新し継続して行っています。					
	5	利用者様の相談しやすい環境	今後も日々の様子の変化など、家庭での様子も日々聞いていきます。その中で、悩みの解決などを一緒に考えていけるように保護者様にも寄り添い、何でも相談しやすい関係作りを継続していきます。					
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール（人・予算・情報・手順等）	担当
すべからぬこと	1	感染症のBCP作成・見直し	感染症のBCP作成。定期的な見直し	半年に1回			会社で行なわれる感染症の研修とは別に、自事業所でも独自で確認研修を行ないます。 作成された計画は半年に1回見直しを行ないます。	
	2	従業員の気づきを増やす	全従業員が小さな気づきを意識し、常に報告、共有、都度改善にむけて取り組める環境をつくる	毎日	5月	令和6年6月30日	職員の気づきを毎日終礼にて記録する 記録したものを週に1回施設会議で検討、評価する。	全スタッフ
	3	福祉サービスの継続性	他事業所への連携・引継ぎ文書作成し、活用する	1年	5月	令和6年6月30日	保護者様の同意を含めた手続き、引継ぎ文書を作成する	水野・坂倉
	4	事業所の事業計画	次年度の事業所計画を作成し、周知する	1年	5月	令和6年12月31日	事業所の活動予定や取り組み、研修内容に併せて、従業員nのスキルアップ目標等も記載した年度計画を作成し、保護者に周知する	全スタッフ
	5	地域との交流を広げる為の取り組み	地域のイベントを見つけ、参加する	1年	5月	令和6年12月31日	鈴鹿市の地域の情報をSNSを使って収集する。 児童が興味がありそうなイベントを探し、参加する。	全スタッフ
工夫すればよいこと	1	ボランティアの受け入れ	ボランティア1名獲得	1年	5月	令和7年4月	・事業所のSNSでの発信を毎週1回（ハッシュタグなどから進める） ・SNSを活用し社会貢献の取り組みとし情報を周知する・情報を収集する・受け入れ準備を進めていく	全スタッフ
	2	地域の福祉ニーズ	埋もれたニーズの発掘	1年	5月	令和7年4月	・地域住民へまずは施設の事をしてもらおう準備を進める ・地域で暮らしている人たちがどのようなニーズを持っているかを調べる取り組みを進める（アンケートなど）	水野・坂倉
	3	運営の透明性	苦情・相談や研修内容をホームページへ公開する	1年	5月	令和6年12月31日	・苦情・相談の書式を誰が見ても分かりやすい内容に修正する。 ・ホームページ内にそれぞれの内容に応じたページを作成する	水野・坂倉
	4	災害時における地域との交流	災害時の連携	1年	5月	令和6年12月31日	・自事業所が、災害時にどのような役割を行うことが望ましいのか、地域の人の声を集める。 ・地域活動へ参加していく	全スタッフ
	5							
予算化しないこと	1	災害時における備蓄	備蓄品の購入。定期的な在庫確認	1年	5月	令和6年12月31日	・専門家（元消防署の所長）の指導の元、必要と想定される備蓄について助言をもらう。 ・必要な備品を会社に申請し購入してもらう ・購入した備蓄品は半年に1回、賞味期限や品質等を確認する。	坂倉
	2							